

サーキット走るのにサスのメンテちゃんとしてる!? 上手に乗れないのはバイクのせいかも…(>_<)

シーズン OFF の今こそ、今年こそ…バイクを**ちゃんと**しよう!!
「**ちゃんとしよう!サスペンション**」**キャンペーン**です(^o^)/

RSGはライティグの伝道師を目指しています! ライダーが走ってくれてナンボ、上達してくれてナンボ!です。だからメンテ料金はリーズナブル。その分沢山走って下さい(^o^)/。だからってもちろん手は抜きません! RSGレーシングのマシンをメンテする時と同じ気持ちで**ちゃんと**やらせて頂きます(^_-)-☆



★いかに新車に近い状態を維持するか?! これこそがメンテナンスの究極です。エンジンと同じかそれ以上に重要な足回りは、定期的にメンテナンスをする事でほぼ新車の乗り味を維持する事が可能です。これこそがRSGがレースで培っているノウハウです。またメンテ作業をする中で今まで気になっていたセッティングの変更などをしてみればお得ですよ(^)/。

☆ ちゃんとメンテ STEP1メニュー ☆

これでサスは大丈夫!
あとはライダーの問題ですね(^_-)-☆



<メンテ内容>

◆フロントフォーク **オイル交換&内部洗浄**

◆リアサスペンション **オーバーホール/リンク周りグリスアップ**

◆通常価格 <倒立フォークとシングルリアサス> の場合…37,800円(税込)

が!!  **なんと!!**

◆キャンペーン価格 32,100円!! (税込)

< 正立フォークの場合…定価 33,600円 ⇒ 28,500円(税込) >

*更に!! 外して持ち込みの場合は、フォーク2000円引き、Rサス1000円引き!!

*納期・・・10日~2週間程度。(混雑状態によりますのでお問い合わせください。)

*金額はパーツ代込ですが車種により部品代が若干変わります。

*リアサス本体に窒素ガスのバルブが付いていない車種は別途バルブ取り付け加工に3,150円必要です。このバルブ加工をすれば窒素ガス注入が出来るようになるので、常に**ちゃんとした状態**を維持できます。RSGには高圧窒素ガスを補充する設備があります。

こんなライダーに
必須メンテ(^o^)/

★中古でバイクを買っていつフォークオイルを交換したのかも分からない(^_^)。

★何もせずに2万*以上走っている。特に問題はない気がするけど…(^o^)。

★今年はサーキット元年!一杯走って上手になりたい!!

★最近上手く乗れない…、コーナーでバイクの向きが変わらない気がする…(+_+)

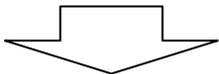
これでサスペンションは完璧(〇)!

<メンテ内容>

◆フロントフォーク **オーバーホール** (オイル交換/シール・ブッシュ交換/内部洗浄)

◆リアサスペンション **オーバーホール/リンク周りグリスアップ**

◆通常価格 <倒立フォークとシングルリアサス> の場合……49,350円 (税込)

が!!  なんと!!

◆**キャンペーン価格 41,500円!! (税込)**

< 正立フォークの場合…定価 45,150円 ⇒ 38,300円 (税込) >

*更に!! 外して持ち込みの場合は、フォーク2000円引き、Rサス1000円引き!!

*納期・・・10日~2週間程度。(混雑状態によりますのでお問い合わせください。)

*金額はパーツ代込ですが車種により部品代が若干変わります。

*リアサス本体に窒素ガスのバルブが付いていない車種は別途バルブ取り付け加工に3,150円必要です。このバルブ加工をすれば窒素ガス注入が出来るようになるので、常に**ちゃんとした状態**を維持できます。RSGには高圧窒素ガスを補充する設備があります。



こんなライダーに
必須メンテ(〇)!

★無交換で走行距離は2万kmを超えた…(^_^)。

★インナーパイプにオイルが付いている…(^_^)。

★今年はサーキット元年! ちゃんとした状態で走り始めて上手になりたい!!

★最近上手く乗れない…、コーナー進入で振動が出たりして、バイクの向きが変わらない様な気がする…(+_+)

ここまでやればほぼ新車(*^_^*)

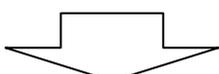
<メンテ内容>

◆フロントフォーク **オーバーホール** (オイル交換/シール・ブッシュ交換/内部洗浄)

◆リアサスペンション **オーバーホール/リンク周りグリスアップ**

◆足回りその他 **ステムベアリング&ホイールベアリング打ち換え**

◆通常価格 <倒立フォークとシングルリアサス> の場合……87,150円 (税込)

が!!  なんと!!

◆**キャンペーン価格 74,000円!! (税込)**

< 正立フォークの場合…定価 82,950円 ⇒ 70,000円 (税込) >

*更に!! 外して持ち込みの場合は、フォーク2000円引き、Rサス1000円引き!!

*納期・・・2週間~3週間程度。(混雑状態によりますのでお問い合わせください。)

*金額はパーツ代込ですが車種により部品代が若干変わります。

*リアサス本体に窒素ガスのバルブが付いていない車種は別途バルブ取り付け加工に3,150円必要です。このバルブ加工をすれば窒素ガス注入が出来るようになるので、常に**ちゃんとした状態**を維持できます。RSGには高圧窒素ガスを補充する設備があります。



こんなライダーに
必須メンテ(〇)!

★走行距離は5万kmを超えた(^_^)。

★取り回しの時にバイクが重く感じる。(ベアリングが劣化している。)

★今年はサーキット元年! ちゃんとした車体で走って上手になりたい!!

★最近上手く乗れない…、コーナー進入でバンクしにくい。直線で振られた時になかなか収まらない(>_<)。

新車感を保つための
フロントフォーク
メンテナンス周期

◆フロントフォークオイル交換

『サーキットだけを走る人』	⇒ ⇒	正立	2000～3000 km 毎。
		倒立	3000～4000 km 毎。(倒立の方が劣化しにくい)
『サーキットや一般道を元気良く走る人』	⇒ ⇒	正立	3000～4000 km 毎。
		倒立	4000～5000 km 毎。(倒立の方が劣化しにくい)
『一般道だけを走る人』	⇒ ⇒	正立	6000～7000 km 毎。
		倒立	8000～10000 km 毎。(倒立の方が劣化しにくい)

《サーキット走行でのフォークオイルは一般道の3倍の劣化と考えます。》

◆フロントフォークOH

『サーキットだけを走る人』	⇒ ⇒	3000～4000 km 毎。
『サーキットや一般道を元気良く走る人』	⇒ ⇒	7000～10000 km 毎。
『一般道だけを走る人』	⇒ ⇒	10000～15000 km 毎。



RSG ではフロントフォークメンテ時にしか調べられない、フルストロークの位置にマーキングをします。またフロントもリアもタイラップなどで走行中のストローク量を測り適切なセッティングをアドバイスします。



上のタイラップでストローク量を測ります。下のラインがフルストローク(限界値)のライン。この残ストロークを測ってセッティングの目安にします。



リアサスも OH 時にはストロークが分かるようにセンサーを付けます。限界値は下のゴムのラバーまで。

フロントフォーク内のフォークオイルはサーキット等を走行すると100℃位まで上がると言われています。…で、ちゃんとしないと・・・(+o+)



『フォークオイル』の役割を簡単に言うと、フォークの動きを「しっとり」としてくれる事。オイルが汚れてへたって来ると粘度が下がりサラサラになります。そうすると「じわっと」ではなく「ビョンビョン」動くようになります。これでは強いブレーキはかけられません。(ミナキでも無理(+_+))。またコーナーの進入時でもフォークが「フワフワ」して接地感がなく、進入スピードを上げられません。「最近突っ込みが上手くいかない」と感じているあなた！大丈夫ですか…？！

フォークのOHはオイルシールやガイドブッシュ等と呼ばれる部品を交換します。ブッシュ類はインナーチューブとアウターチューブがスライドする面に直接当たるので当然摩擦していきま。サーキット走行ばかりを5000 kmもすると明らかにインナーパイプとアウターパイプのガタが大きくなるのでギャップで振られやすくなったり、振動が出たりします。最近なんか乗り心地が悪い、チャタが出るとか言っているあなた！一度走行距離を確認してみてください(^)/

OHがベストですがそうは言ってもなかなか…というのも分かります。シールやブッシュの交換は最悪オイルがにじんでもからでもいいとしても、フォークオイルだけは上記のメンテ周期で必ず変えましょう。ライダーは少しずつ悪化する症状には気が付かないものです。そしていつの間にかそのバイクの状態に合わせて走らせています。その結果メリハリのないライディングになっていくのです。

**新車感を保つための
リアサスペンション
メンテナンス周期**

◆窒素ガス補充

『サーキットだけを走る人』	⇒ ⇒	1500~2000 km 毎	か	半年に 1 回。
『サーキットや一般道を元気良く走る人』	⇒ ⇒	3000~5000 km 毎	か	半年に 1 回。
『一般道だけを走る人』	⇒ ⇒	6000~8000 km 毎	か	1 年に 1 回。

◆リアサスOH

『サーキットだけを走る人』	⇒ ⇒	3000~5000 km 毎。
『サーキットや一般道を元気良く走る人』	⇒ ⇒	6000~8000 km 毎。
『一般道だけを走る人』	⇒ ⇒	8000~10000 km 毎。



窒素ガス補充作業

◀高圧のガスタンク（サス本体の後ろに付いているタンク）に封入されている窒素ガスは定期的な補充が必要です。▶

◀バルブ付きでないタイプは加工出来ます。▶

*加工不可でOH時にしか補充できないタイプもあります。



窒素タンクのないタイプもバルブを付ける事でOHが可能になります。その後ガス圧を管理出来るようになるので便利です。



バルブが無いタイプは加工して取り付け。



リアサスペンションは、乗り心地だけではなく「コーナリング」と「タイヤのグリップ」にまで重要な役割を持っています。
…で、ちゃんとメンテしないと…(+o+)



『リアサスペンション』は乗り心地を良くする以外に、コーナリング中の「バイクの姿勢を決める」働きと、「慣性力(遠心力)をタイヤのグリップに変える」という二つの重要な役割を持っています。リアサスがちゃんとしていないと車体姿勢が後ろ下がりになり向きが変わらなくなったり、オイルがへたる事でじわっとした動きをしなくなったりします(Fフォークオイルのへたりと同じ症状)。リアサスが急な動きをすると、柔らかく感じるのでライダーがそれに合わせてしまい、メリハリの無い走りになることもよくあります。またはサスのバネを固めたくなり、グリップ感は出ても今度はごつごつして跳ねたり、急に滑ってハイサイドの危険が増える事になるのです。

あの小さな窒素タンクに20kgf/cm²も詰め込まれている車種もありますが、10~13 kgf/cm²位が一般的です。密封されていますが微量ずつですが確実に漏れているのです(タイヤのエアバルブと同じバルブ式のものも多い)。20k指定のサスでは1年で12k位になっている事はざらです。高圧ほど減少率が高く、1年で3割減と言う感じですね。これだけ落ちると足付きから変わってくるレベルです。新車から10年乗った車種でガス圧0kg!というのも何台もありました。これではサスの反力をスプリングだけに頼っている事になるのでギャップでの底付き感や、またコーナリング中に常に後ろ下がりの状態で向きも変わりません。注入バルブが付いていないタイプは、加工して取り付ければいつも適正なガス圧に保つ事が出来ます。

リアサスのOHは、オイルと内部の部品も交換するので新品に近い状態に戻ります。いままで固めていたサスを少しソフト目にセットしても十分腰が出るはず。リアサスのオイルはフロントほど劣化しないので、まずは上の表の周期でガスの補充を試みましょう。それだけで今までどれだけ「ちゃんと」していなかったのかが分かると思いますよ。(＊OH時にしかガスを補充できない車種もあります。お問い合わせください。)